

本院患者さんへの情報公開用文書

「脳腫瘍のてんかん発症リスクと難治性の検討」についてのご説明

1. 研究の対象

① 2010/12/1~2017/12/31 の期間に札幌医科大学附属病院で治療を行い、脳腫瘍と診断された症例。

2. 研究目的・方法

脳腫瘍は、症候性てんかんの発症リスクが高く、てんかんになった場合に難治になることがあります。一方で、どのような症例で発症リスクや難治になるリスクが高いか未だ不明な点が多いのが現状です。そのため、患者の背景因子、遺伝子、免疫組織学的特長とそのてんかん発症や難治性の関係を詳細に調査、解析することは、今後の新しい治療法の開発に大きく貢献する可能性があります。また、新しい抗てんかん薬が増えており、てんかんの治療成績に及ぼす効果を検討することは、今後の治療を明確にするために必要なことであります。

われわれは本研究では、当施設で治療された脳腫瘍患者に関し、背景因子（年齢、性別、腫瘍の組織型など）、画像所見、治療方法（手術、放射線治療、化学療法）ならびに免疫組織学的特長や遺伝子の異常などに関して後ろ向きに調査し、てんかん発症や難治性との関連を調査します。

● 研究期間

2017年11月9日から2020年12月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、採血結果、放射線画像所見、病理所見、カルテ番号、病理番号

試料：手術で切除した組織検体

4. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象とはしませんので、提供を希望しない場合は、

いつでも下記の問い合わせ先にご連絡ください。その場合は、あなたに関わる研究結果は破棄され、診療記録なども、それ以降は、研究目的に用いられることはありません。

ただし、あなたから研究対象とはしないでほしいとご連絡を受けた時点で、既に、研究結果が論文などに公表されている場合や、研究データの解析が終了している場合には、解析結果等からあなたに関するデータを取り除くことが出来ないことがあります。

問い合わせ先・研究責任者

〒060-8543 北海道札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学附属病院 脳神経外科科

研究責任者 三國 信啓

問い合わせ担当者 鈴木 比女

【平日 TEL (011)611-2111 内線 33510 (教室)

休日・時間外 TEL (011)611-2111 内線 33580 (8階北病棟)】

-----以上